



~わたしの考える地域防災のあり方~

広島大学 国際協力研究科 下岡 優希



今日のお話すること

私について

地域防災って?

わたしが防災の現場で気づいたこと

新しい防災の進め方

私の考える新しい防災

これからの活動

私について

広島大学 国際協力研究科

開発科学コース

修士2年生(9月卒業就活と研究中)

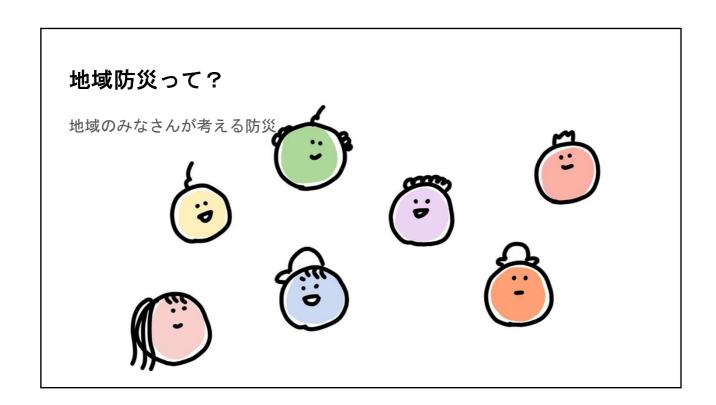
広島県自主防災アドバイザー

呉市防災リーダー

FMラジオパーソナリティ

好きなもの: お好み焼き





それぞれの背景がある なかなか 1 つのことを 共有議論するのは難しい

わたしが防災の現場で気づいたこと

ワークショップでは...

話にくい (年齢の差、知識の差)

背景が違う人がおおいので、意見を拾いにくい

<u> 座談会では...</u>

話をしていてもすべてを理解することは難しい

専門用語(国土強靭化、レジリエンスなどの言葉のイメージが怖い)がキャッチーでない

本当に伝わってる?響いてる?意味がある?

1つの新しいワークショップ

国土強靭化ワークショップ (2018)





新しい防災の進め方

グラフィックを用いた防災の議論の場①



















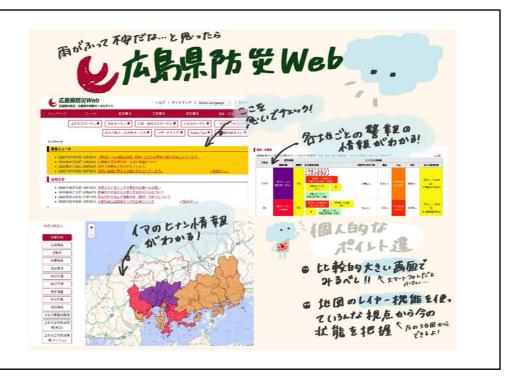
新しい防災の進め方

グラフィックを用いた防災の議論の場②





SNSで...



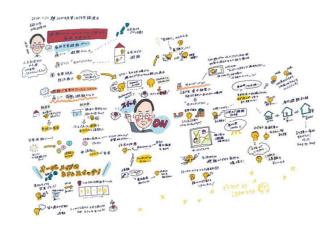
他にも...

21歳がはなす日常にまぎれた防災の話





土木学会やウェビナーのぐらレコ(趣味)





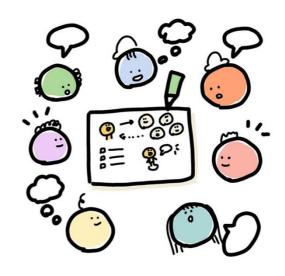
私の考える新しい防災

地域のどんな背景の人でも伝わる

デザインや見え方を意識した防災 を目指し 自分のスキルを最大限使って広めていく

もっと若い世代からの防災を!

いろんな世代のひとが同じ目線で 話すことができる場であるべき!



これからの活動

自分の活動でちょっとでもまわりのひとの防災を近くによせていく

本当にそれは人々に伝わっているか それを問いながら活動していきたい

SNSでの活動の発信







